

校長室だより No.7

9月は「挑戦する」

2024年9月2日 柏市立富勢小学校 校長 梅津健志

夏休みが終わりました。2学期が始まります。6月29日に行った教育三集会で、本校卒業時に身につけたい力を出していただき、28の力がそこに出てきました。学校経営グランドデザイン創造プロジェクトチームにより、今の子どもたちの様子とワークショップでいただいた皆さんの願いを合わせて、今年度目指す姿を次のように決めました。

『挑戦し やりぬこうとする 子』

この、今年度の最上位目標に向けて、9月のキーワードは「挑戦する」とします。6年生と5年生は、年間行事でも大きな修学旅行と林間学校が予定されています。そのほかの学年も2学期には校外学習が予定され、生活科や総合的な学習の時間では、富勢地域を教材とした学びを行っていく予定で、その中でも挑戦を意識していきます。でも、挑戦するために必要なことは、なんでしょうか？

目標を持つことです。学校の学習としては、課題や問いを持つことが、挑戦する姿を引き出すための最も重要なポイントになります。子どもが様々な学習や活動に取り組む時に、子ども自身がやってみたい、○○になりたい、と思って取り組めることが大切なことです。最近令和の日本型教育として、「個別最適で協働的な学び」ということが言われていますが、簡単に言うと先に述べた、一人一人課題や問いを持って、力を合わせて挑戦するマインドを持って学習に向かっているかが問われているのです。

でも、思い返してみると学校の勉強は、「やらされ感」が強くなかったでしょうか？何のためにこれを学習するのか、友だちと話し合っただけでどうするのか？という授業経験が多くなかったでしょうか？しいて言うならば受験に出題されるから、という目標で授業を受けていたという記憶ではありませんか？今まではそれでもよかったのですが、これが「正解が無いと言われるこれからの世の中を生きる力」になるのかと考え直した時、一人一人の子が自分としての課題意識やどうして？という問いを持って学習に取り組むようにしていかなければ、社会に出て直面する課題に対応できないことが見えてきたのです。

9月は「挑戦する」を子どもたちが意識できるように、先生たちも今までの指導方法から変えて新しい指導に「挑戦する」という意識で取り組んでいきます。「挑戦し やりぬこうとする子」の実現に向けて、学校と保護者と地域がひとつになって取り組んでいきましょう。